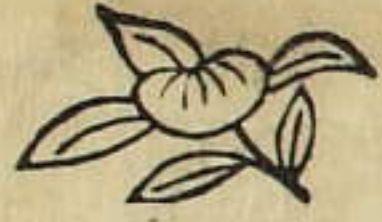


諸懷玉卷二目錄

- 對類和奇
- 三教一法
- 三諦和奇
- 七喻和奇
- 五波四密
- 八妙和奇
- 六喻和奇
- 十戒和奇



九口首

馬九

師蓋口

同

後系極後

師蓋口

道遙院後

師蓋口



○法苑十八品和歌

十八首

○之部素巳世の薩折句

実隆公

○歌十十之當

十首

○五典 奇



沖製

○五節供亦奇

五首



○九月十五 和歌

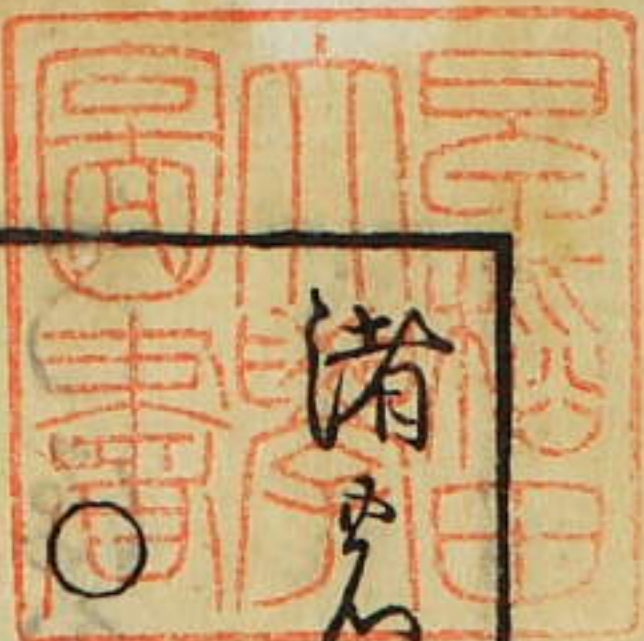
定家公

○いろえ四十八首

和歌

○源氏物語 卷之二十 和歌 六首

道遠院



諸君玉卷之二

○對 和歌

高

後柏原院

高きみみ 月より人の光りたる秋とさねおゆの芝心

低

道遠院前内大臣

さや くらもれお小ねおちの春根はりのりこ

上

前森儀涉院

くらりなまの日の波は海より心とさねおゆの初音

下

持大納言政為

田代新形波羅密

おのゝこせのふかきつゝあはれとあゝふとらるゝ

禪波羅密

くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく

○五竹寺のむす

原道

寄地寺書

あめりたのりていふかきあふあふあふあふあふあふ

寄つら書

河たりの流はくわあはくわあはくわあはくわあはくわあは

寄大寺書

くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく

寄小寺書

あめりたのりていふかきあふあふあふあふあふあふ

寄中寺書

くろくくろくくろくくろくくろくくろくくろくくろく

○六諭和歌令別紙

道遠院前内府

永正十一年十二月八日就山和尚七十四追善六首

學

二
慈是吾子 碎言喻品

伏見文貞法

世の人世のなほもゆまりのをくしあめはの

浄佛の云 信修品

言和文好に

くまりの 比佛の心とちり花のうらまの人の

現世安徳 善美吟品

九条前関白忠業

うのてあもよま案なる世の花のあて月もさく

心尚懐 後龍品

竹内良恕

あふもいめどはのこらりはつるあふれ

橙化 此城 化城喻品

大光寺言言姓

とら人のやそぬより花のわくそい人のうめえれ

内秘 善美吟

妙法院文光然

かききり花のわくそい人のうめえれ

我願 人龍品

智恩院文良純

ゆきとてはふらのまゆも花のうらまの

法 善美吟

空後院文道寛

況をけり花のわくそい人のうめえれ

在 善美吟

善達院文善純

あつうのまくりわめあつうのまゆも花のうらまの

即道場外

柳永中納言業光

るめいし池のさらすのむらりあつたははとくま

各本六 晴果

水戸康前中納言成

はあてふか移まふ家とありあつたははとくま

如後得和 業果

西洞院入道房室

ふくのたわあひのこころはゆるやすむつては

不報自鳴 妙善

西洞院宰相時直

とのほろあしかるおのこころはゆるやすむつては

心念不空過 妙善

有宰相永夏

あふとくともあつたははとくま

無諸表患 院外

飛鳥丹雅

とくまのぬらふらひとすえてははとくま

公家作沙門 莊者

萬丸宰相光賢

ゆかるとあつたははとくま

作礼而去 知登

近衛信尋

あつたははとくまのぬらふらひとすえてははとくま

○三如来四王菩薩初密道遠院実隆

永正九年九月廿七日
 長教と道賢は所
 在の地より
 所居の地へ
 移りて
 住す
 所居の地は
 長教の所居
 所居の地は
 長教の所居
 所居の地は
 長教の所居

永正九年九月廿七日
 長教と道賢は所
 在の地より
 所居の地へ
 移りて
 住す
 所居の地は
 長教の所居
 所居の地は
 長教の所居
 所居の地は
 長教の所居



○詠十牛之集

牛ウシ

雅章ウシ

もくもく人のつらみのたうらふのふくもくもくもくもく

見ミ

時量ウシ

たぐもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

見ミ

雅喬ウシ

まろもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

海牛ウシ

資清ウシ

あつもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

牧牛ウシ

通春ウシ

うらもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

騎牛ウシ

弘資ウシ

うらもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

志寸ウシ

資玄ウシ

あつもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

人牛ウシ

神製ウシ
後西院

まろもくもくもくもくもくもくもくもくもくもくもく

返ウシ
中ウシ
原ウシ

道寛ウシ
法親王

こもくふ記のあはれみわたりあつたのふり
ちえまゝ
入野意まゝ

道見法親王

らあそをのころははしむるもあつたあはれ

○五世和歌

又、有親

後水尾院

色舟よりは多ふかよ愛すありまゝとらふるもあはれ

若片有義

天は中らりなりとて照月のゆかりあはれ

丈婦有別

行くは山向むかおそいと海なるはさるるのさき

長幼有序

長幼有序

春のこゝろはあつたあはれみわたりあつたあはれ

朋友有信

春のこゝろはあつたあはれみわたりあつたあはれ

○五世和歌

元日宴

道遠院

あつたあはれみわたりあつたあはれ

曲水宴

授中池言家賢

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian, filling the page.

Handwritten text in a cursive script, likely Mongolian, filling the page.



Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy (sōsho). The text is arranged in a single column, reading from right to left. It consists of approximately 15 lines of characters, which are fluid and interconnected. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written on aged paper. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines within a rectangular border. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, written on aged paper. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines within a rectangular border. The script is dense and characteristic of early modern European handwriting.

○源氏物語巻之七十九 和奇 五十八首

道遠院前内大臣

さりたが

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

さりたが

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

あはれなきかたはるるをいふに
あはれなきかたはるるをいふに

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text in a cursive script.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

